



日本共産党市議会議員団

おぜき栄子
鳥井やすこ

にこっと通信

第124号

2019年8月11日(日)

足利市田中町789
第3石川ビル3階
市議会議員団

無料法律相談会毎月第1火曜日 おぜき栄子・鳥井やすこ事務所
相談される方は事前に事務所へ連絡して下さい。TEL(72)7848 FAX(71)8392

おぜき栄子・鳥井やすこの議案に対する賛否

議案	賛否	
	おぜき	鳥井
第4号 一般会計補正予算(第2号)	○	○
第5号 手数料条例の改正	○	○
第6号 火災予防条例の改正	○	○
第7号 災害弔慰金の支給等に関する条例の改正	○	○
第8号 介護保険条例の改正	○	○
第9号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の改正	○	○
第10号 こども夢基金条例の制定	○	○

6月議会報告

会期は、6月10日から6月28日の19日間でした。

主な議案

- ①手数料条例の改正
- ②災害弔慰金支給条例の改正
- ③介護保険条例の改正
- ④こども夢基金条例の制定
- ⑤放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の改正

介護保険料の

軽減を実現!

介護保険条例の改正(19年度)は、3月議会でも報告しました介護保険料が第1段階(3段階(14段階)までの低所得者の方が軽減されます。財源を消費税増税を前提としています。がこれまでの市民からの要望を一定部分ですが介護保険料の軽減を実現させました。左記の通り、2年間で軽減されます。

介護保険料の軽減額(年・円)

	軽減前	2019年	2020年	軽減額	軽減率
第1段階	26,200	22,900	19,650	6,550	25.2%
第2段階	42,500	37,600	32,750	9,750	22.9%
第3段階	49,100	47,400	45,850	3,250	6.6%



7月23日全員協議会で、市は、公共料金の引上げとあしかがフラワーパーク駅費用負担について、発表。

一、消費税増税を理由に公共料金の値上げ!

市は、7月23日に行われた全員協議会で、消費税10%増税が予定されているとして、10月1日から公民館などの使用料、水道料金、し尿処理、ごみ処理などの手数料、公共料金49件の引き上げを発表。この引き上げにより、市民への影響は、千四百万円の影響増です。小山市では、市独自の使用料金などの引き上げは、しない。栃木市は、現在5%分の消費税を転嫁している使用料などは、3月まで引上げをしないとしています。9月議会に引上げの条例改正案は、上程されます。市民負担を強いる公共料金の消費税増税による値上げは、見合わせるべきです。

二、あしかがフラワーパーク駅総額9.4億円

2018年4月に開業したあしかがフラワーパーク駅の市、県、JR負担額が9億4400万円になることが明らかになりました。残されていたシステム改修費1億6400万円が確定し、市の負担総額は、5億5000万円。予定額15億円の66%の費用総額となりました。市は、あしかがフラワーパーク駅ができて、駅周辺のゴールデンウィークの一定の渋滞緩和やJR駅利用者の増加となつたと説明しています。

あしかがフラワーパーク駅の費用負担割合

	総額	足利市	栃木県	JR東日本
駅舎等工事費	6.3億円	2.8億円	1億円	2.5億円
駅前広場整備費	1.5億円	1.5億円	—	—
システム改修費	1.6億円	1.2億円	—	0.4億円
合計	9.4億円	5.5億円	1億円	2.9億円

しかし、近隣で働く住民は、ゴールデンウィーク時は、1時間以上前に家を出ないと始業時間に間に合わない渋滞緩和になっていないと切実な声を挙げています。集中豪雨時の冠水対策、迫間自然観察公園の賃借地の更新も中止し、駅前を活性化させるどころか後退の一途を辿っています。新しい駅舎を多額の税金をかけて造つたからには、活性化させるための最善の努力が求められます。



猛暑の中、街頭から市政報告を行う

特定健診の受診率

(2016年・足利市国保データヘルス計画から抜粋)

足利市35.5% 県34.5%

年令	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~74歳
男性平均	14.3%	17.8%	30.0%	42.4%
県同平均	16.7%	19.4%	31.8%	39.1%
女性平均	18.4%	28.4%	41.5%	51.9%
県同平均	20.9%	26.8%	39.0%	42.3%

*足利市の国保加入者の特定健康診査(特定健診)は、40歳から74歳までの対象者。男性は、40~60歳代県平均を下回る。女性は、40歳代を除く全てで、県平均を上回る。

おぜき 特定健診受診率の目標値、2016年50%、2017年60%を達成させるために利便性を図る必要がある。佐野市は今年度から、特定健診を無料にした。足利市も無料にするべきではないか。当局:総合的なバランスを考慮して研究したい。

当局:事業主から声掛けをして頂くことは有効な方法であり、本市も働きかけたい。切手代も令和2年以降に検討。

おぜき 特定健診受診率の低い40代、50代の加入者の勤務先の事業所に働きかけ、従業員に受診の指導をすすめる。集団検診の申し込み62円切手が必要だが無料にするべきではないか。

特定健診料の無料化を!申し込み郵送料無料に

1. 国民健康保険制度

おぜき栄子の一般質問

↓裏面に続く

資格証を廃止し、相談窓口設置を!

おせき：資格証の発行率が県内第3位、発行を減らす努力をしているのか。

当局：資格証は少しでも減らしたい。被保険者間の負担の公平を図り、法令に基づいて適正な処理に努める。

おせき：資格証を発行する前に夜間を含む相談体制の確立が必要ではないか。

当局：納税相談は、滞納している方に向き合い対応。携帯電話の普及により、昼休み、3時休みに一報を入れていただきたい。一歩を踏み出す勇氣を持って、完納に繋がる。

市は、滞納相談は、「行っていい。連絡さえして頂ければ」と市民の行動を要求しているが、催告書、給与の差押えが前面に出ている状況の中で、市民の立場に立った対応が求められます。

**2. 防災対策
ブロック塀の耐震化**

危険ブロック撤去・改修の補助制度を急げ!

おせき：教育委員会などが実施した建築基準法に適合していないと思われる通学路のブロック塀が65ヶ所。通学路の危険ブロック塀の撤去、改修等を国、県の支援制度を活用し、市独自の撤去、改修の補助制度を創設すべきではないか。

当局：原則、所有者の方が管理。現在、国や県、学校関係者で足利市通学路安全推進会議を設置、建築指導課も参画。適宜道路管理者、警察、学校やPTAなどと協議し、補助制度と合わせて危険防止について検討。

宇都宮市、佐野市など6市がブロック塀の撤去改修の補助制度を創設している。足利市に求めましたが消極的な答弁となりました。

**3. 自然保護
迫間自然観察公園**

**貴重な植物が生息する
迫間湿原を守れ!**

足利市は、迫間自然観察公園(15ha)のうち、5haの借地を賃貸借契約をやめ、大半が借地である迫間湿原を放棄。貴重な植物が生息する湿原を守るよう求めました。



八ヶ岳・みどり沼にて

鳥井やすこの一般質問

1. 高齢者の交通手段の確保

**高齢者施策の充実で
地域経済の活性化を**

鳥井：本市の生活路線バスの人口カバー率はどの程度なのか？また、その算出に当たって高齢者の移動可能な範囲を加味したものとなっているのか。

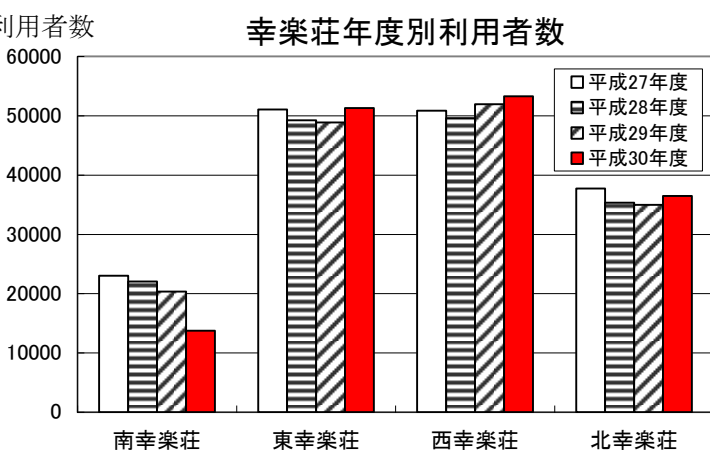
当局：H29年度の「まちぎの公共交通」の調査結果として公共交通サービス(鉄道と生活路線バス)のカバー率が79.8%である。高齢者の移動について考慮したものではない。

鳥井：バスのみでの人口カバー率について独自の調査を行う予定はないのか。

当局：独自の調査を行っていない。
鳥井：公共交通サービスの人口カバー率79.8%は栃木県内25市町の中で下から7番目となっている。上位14市町については100%を達成している事を考えると、足利の状況は良いものではない。今後、カバー率を上げるための取り組みの予定はあるのか。

*人口カバー率とはバス停から300m以内、鉄道駅から1.5km以内に住民人口の割合を表す。

	人口カバー率
足利市	79.8%
佐野市	77.9%
栃木市	100.0%
小山市	95.8%
下野市	100.0%
栃木県	90.0%



鳥井：東西北幸楽荘に比べ、早い時期に建設された南幸楽荘はほかに老朽化が目立つ状況だが、このまま朽ちさせるのではなく、地元の方が継続利用できるように早期に改修することを求める。



参院選・東京選挙区で当選した吉良よし子議員と

**2. 南幸楽荘の設備改修
入浴施設の改修を早急に**

鳥井：昨年夏から故障している、入浴施設と大広間のエアコンの設備改修の見通しについて。

当局：大広間のエアコンについては3月に4台のエアコンを設置済み。入浴施設については現在も利用中止の状態。代替措置として東幸楽荘へのタクシー送迎を行っている(要予約)入浴施設の改修予定は、これから検討していく。

鳥井：南幸楽荘の入浴施設が使えなくなった事で利用者数の変化はあるのか。

当局：南幸楽荘が減っているが、東・西・北の幸楽荘の利用者が増えている。

鳥井：他の幸楽荘に行く事ができない利用者もいると思われるが、調査はしているのか？

当局：特にしていない。

**3. 高齢者支援について
困難な高齢者の
「ついで」支援を**

鳥井：核家族化・高齢化が進むなか、ごみ出しが困難な高齢者が増えている。足利市としてどのような取り組みを行っているのか。

当局：ホームヘルパーやシルバー人材センターに委託しての「高齢者くらしのお手伝い事業」支え合いボランティア」等を実施している。

鳥井：近隣で公でごみ出し支援している自治体を具体的に聞きたい。

当局：近隣では、佐野市、桐生市などが行っている。

鳥井：地域での支え合いを否定しないが、地域任せにせず自治体が働きかけをしていく姿勢を求める。